

資料 3

**岩出市公共下水道使用料 第1案
(完全従量制案)**

事務局

1. 前提

1) 事業の概要

- ① 排除方式:分流式(汚水)
- ② 建設開始年度:平成13年度
- ③ 供用開始年度:平成20年度

2) 使用料制度

- ① 基本使用水量 なし
- ② 2ヶ月毎に検針
- ③ 基本使用料 なし

2. 財政計画の諸元

1) 財政計画期間:平成20～24年度(5ヵ年)

2) 施設の建設計画:次の表-1に示すとおりとする。

※ 財政計画の公共下水道建設費・流域下水道建設負担金の合計を計上する

表-1 施設の建設計画

(単位:百万円)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	合計
建設費	1,704	1,430	1,958	1,902	1,625	8,619
国庫補助金	451	377	549	549	459	2,385
地方債	1,183	995	1,323	1,268	1,095	5,864
市費	47	10	33	25	3	118
受益者負担金	23	48	53	60	68	252
年度末普及率	9%	12%	17%	21%	27%	

3) 排水需要の予測:次の表-2に示すとおりとする。

※ 財政計画の水洗化人口、流入水量予測に基づき使用料対象水量を階層別に配分する。

表-2 排水需要の予測

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	合計
使用料対象水量 (千 m ³ /年)	85.3	268.6	467.5	693.8	948.7	2,463.9
	H20~24年度				1件当り水量	
	調定件数		水量(m ³)		(m ³ /件)	
0~10	16,180		862,300		5	
11~30	35,750		1,042,300		20	
30~	17,478		559,300		52	
合計	69,408		2,463,900		25	

3. 使用料対象経費の算出及び分解

総経費(資本費及び維持管理費)から公費負担額を控除して使用料対象経費を算出するとともに、経費の分解基準に基づき、需要家費、固定費、及び変動費に分解する。なお、今回は使用料対象経費を低廉とするために、資本費の全額、および管きよ費、業務費、一般管理費の人件費等と、排水設備費のうち水洗便所改造助成金に想定する金額の一部を控除する。(表-3)

表-3 使用料対象経費の内訳

(単位:千円)

	経費	控除額	控除額2	使用料	需要家費	固定費	変動費
				対象経費			
資本費	1,098,400	700,943	397,457	0	0	0	0
元金償還金	262,500	153,680	108,820	0	0	0	0
起債利子	835,900	547,263	288,637	0	0	0	0
維持管理費	705,529	13,007	315,463	377,059	25,411	46,966	304,682
管きよ費	45,277	0	32,527	12,750	0	11,563	1,188
業務費	75,685	0	64,264	11,421	11,421	0	0
排水設備費	170,430	4,630	125,917	39,884	13,990	23,022	2,872
一般管理費	414,137	8,377	92,755	313,005	0	12,382	300,623
計	1,803,929	713,951	712,920	377,059	25,411	46,966	304,682

4. 料率の設定

使用料対象経費(377,059 千円)を財政期間中の流入見込み水量(2,463.9 千 m³)で除して下水道使用料単価を算定すると、

$$377,059 \div 2,463,900 = 153.0 (\text{円/m}^3) \approx 150 (\text{円/m}^3)$$

従量使用料の料率を調整して使用料表を作成すると、次の表一4のようになる。

表一4 下水道使用料表

1m ³ 当り	150
月 25m ³ 使用の場合	3,750